

「男女共同参画社会実現に向けて」
『学校現場では』

都留市女性プラン推進委員会

今回は学校現場での男女共同参画社会をめざす取り組みについてお知らせします。

「男女混合名簿」という言葉を聞いたことがありますか？近年、山梨県でも男女混合名簿を使っている学校がふえてきました。私達、大人が小中学生のころは、出席番号は男子が先、女子が後というのが一般的でした。しかし、男女を区別したり、女子を男子の後にする必要はないという考えから男女混合名簿を使う学校がふえてきたことは、ジェンダーフリーの社会実現に向けて素晴らしいことだと思います。

また、子供たちが並ぶときにも男女別にしていないで、あいうえお順や身長順にしたり、教室での座席も男女混合にするなど、男女の区別をなくすことに取り組む教師もふえています。

昨年度、市の教職員の研究会では、子供たちにジェンダーにとられない職業意識を育てようという目標で授業も行ってきました。子供たちは大人社会を見て「これは男の仕事」、「これは女の仕事」という意識が自然に身に付いています。しかし、授業を受けた後「男の仕事、女の仕事なんて決まっていらない。自分がやりたい仕事をすればいいことがわかった」といった感想を持つ子がふえていました。

こうした意識を持った子供たちがこれからますます育っていけば、真の男女共同参画社会が実現するのではないのでしょうか。そのためには学校、社会、家庭が一体となって、子供が一人の人間として自立できるように育てていくことが大切だと思います。

【用語について】

ジェンダー…「生物学的」な男女の違いをセックス(SEX)というのに対して、社会的・文化的につくり上げられた「性差」をジェンダー(GENDER)といいます。

ジェンダーフリー…男だから・女だからという性差にとられないこと。

ネイチャーセンター
ガイド(28)

●森の中の情報いっぱいです！！

今回はふれあいの里「いきもの」情報をたくさんお届けします。

「ふれあいの里にいても何もいないよー」と言っているあなた。

実は毎日、いきものたちがにぎやかなぐらい、みんなの頭の上や足もとで活動しています。

【ディープな夜に・・・】

「ヒミズってなんだろう??」

そのナゾを観察や学芸員とのお話で解きあかします。

センター横の芝生広場に何やらあやしげな青いテント。その前には、水槽がセットしてあります。これが「ヒミズ」観察装置。つぎにセンターいち押しなのは、ペットボトルを使った観察方法です。テントの近くの落ち葉にあるから探して、そっと腰を下ろしてみてください・・・みんなの家のまわりに必ずいるはずだよ。

ヒミズは！

●情報をおまちしています！！

5月3日、国の天然記念物「ヤマネ」5月10日、親指ほどのモグラ「ジネズミ」がセンターに運ばれてきました。この情報だけで都留の森がいかに豊かであるかがわかるのです。

★7月号は、森のサテライトを特集します。

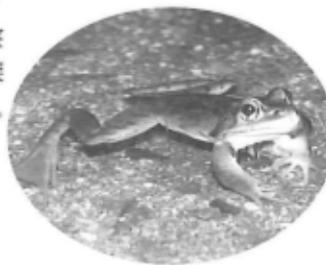
山の息吹につつまれながら、森の中にポツンとひとりたたずみながら、遠くを見たり、足もとを見たり、時には寝転がって、空をながめていたら、そのまま夕方まで寝ちゃったりして・・・



遊びにおいでよ！



そっとのぞいてみよう！



ヤマアカガエル

「野ネズミとの出会いを演出します」～夜の森へかけてみませんか？～

「ネズミ」なんか、汚い、気持ち悪いと思っている方、センターが自信を持って野ネズミに対するイメージを変えてみせます。センターの裏庭で、2階からお茶でも飲みながらそっとのぞいてみましょう。

※学芸員の解説もあります。時の過ぎるのを忘れて気のすむまで観察をお楽しみください。観察の楽しみ方もレクチャーします。

【雨の日も、晴れの日も】

「池の中のをぞいてみよう！！」

生態園の池には、たくさんのいきものたちがくらしています。トンボのヤゴやミズカマキリ、オタマジャクシなど、手にとってじっくりと視点をかえてみましょう。

(アミヤ水槽、虫眼鏡の貸し出しもしています)

連絡・問合せ
都留いきものふれあいの里
ネイチャーセンター

☎(45)6222